

平成27年度実施「いきいき協働事業」活動状況報告書

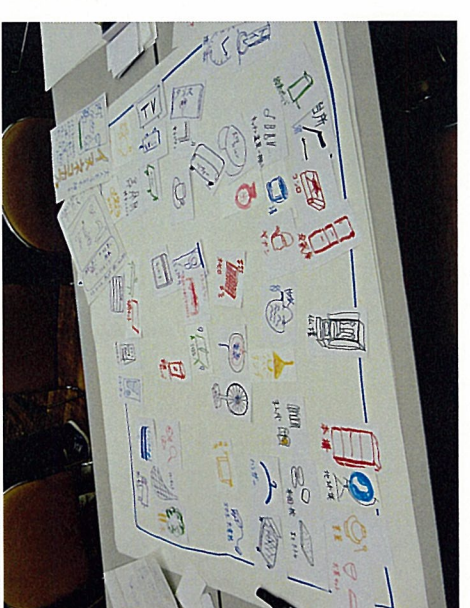
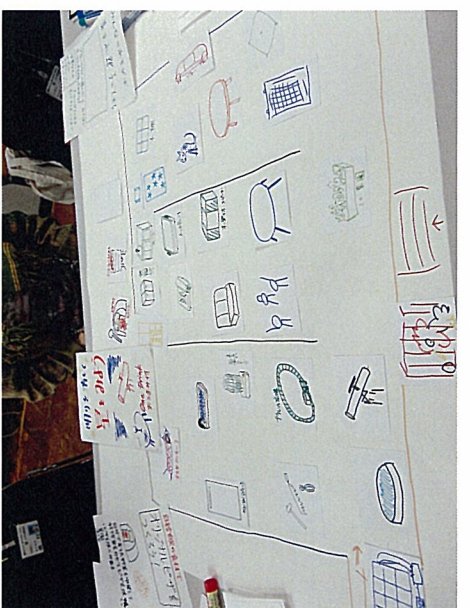
1 事業名	協働のまちづくりに関する講演会とディスカッション	
2 団体名	小平市自治基本条例市民の集い	
3 担当課名	地域振興部 市民協働・男女参画推進課	
4 事業実施期間	平成27年11月18日	
5 実施場所	小平市 中央公民館 ホール	
6 事業の目的、目標	地域で「協働で居場所づくり」を実践するために、独創的で楽しげな手法を紹介して、参加者に対して主体的にこれに取り組もうという機運を盛り上げる。	
7 事業効果が及ぶ対象者	市民、市職員	
8 役割分担	団体の役割	行政の役割
合意した役割分担	事業の企画・運営全般（講師セッティングから当日の実施に係る作業まで全て）	広報等の協力、会場確保、市所有機材の貸与など
役割の実施状況	事業の企画・運営全般（講師セッティングから当日の実施に係る作業まで全て）	広報等の協力、会場確保、市所有機材の貸与など
9 事業内容	北澤潤氏の講演「もうひとつのコミュニティのつくりかたーアートプロジェクト『リビングルーム』の事例から」とワークショップ「アートプロジェクト『リビングルーム』づくり体験」	
10 事業成果について		
(1) 目標の達成状況について	「協働で居場所づくり」には様々なアプローチがあることを参加者に伝え、市民に対してはまちづくり活動への、職員に対しては日常の職務への意欲を高めることができた。	
(2) 解決される地域の課題について ※計画時に設定した課題が、どの程度解決できたかを記載してください。	協働のまちづくりの具体的テーマとして、今日関心の高まっている居場所づくりを据え、これを行政と市民との協働でいかに行うかということを決めた。実際には「協働で居場所づくり」ということについては、講座を開いたこと程度では、とても解決しうるものではない。あくまでも、その取り組みの端緒として、市民・職員に刺激を与え、様々なアプローチがあることを示すことができた。	



<p>(3) 協働事業の受益者について ※計画時に設定した対象者が、満足が得られたか。どう変化したか記載してください。</p>	<p>小平市自治基本条例が希求する参加・協働のまちづくりに向け、市民に対してはお仕着せでない形で、職員に対してはざくばらんなスタンスで、「協働で居場所づくり」に留まらない、これからのまちづくり活動や、役所での仕事に前向きに取り組もうというような、それぞれの意気込みを高めることができた。これまでにない画期的なテーマ・内容の講演・ワークショップで、参加者は楽しめたようである。こうしたイベントは発言者が偏るものだが、高齢の方なども盛んに発言していた。別途、当日の参加者アンケートを提出する。</p>
<p>(4) 協働による相乗効果について ※協働したことにより、単独で事業を行うよりも、成果があったか記載してください。</p>	<p>市報への掲載、当日の会場手配・設営・看板作成や市所有機材の貸与、また市職員への周知により市職員の参加者も多かったことなどは、協働による成果だと思う。 市内大学への広報など、不満に思った点については、改善提案に記載した通り。</p>
<p>11 今後の事業展開について</p>	<p>居場所づくりという今回のテーマを含め、今後、小平市自治基本条例の大きなテーマである協働の推進について見守っていく。</p>









# 協働 で 居場所 づくり

2015年  
11月18日(水)  
13:30~16:15  
小平市中央公民館ホール

## 第1部 北澤潤さんのお話

### 北澤潤さん

現代美術家、北澤潤八雲事務所代表。東京藝術大学大学院博士後期課程修了。

行政機関、教育機関、医療機関、企業、NPO、地域団体などと協働しながら、日本各地で人びとの生活に寄り添うアートプロジェクトを企画している。

日常性に問いを投げかける場を地域の中に開拓する手法によって、社会に創造的なコミュニティが生まれるきっかけづくりに取り組む。

近年では、ネパールや台湾、ニュージーランドといったアジア・オセアニア諸国でのプロジェクトも展開している。

## 第2部 ワークショップ

町なかにかかれた「居間」をつくる北澤さんの代表的なプロジェクト「リビングルーム」づくりを体験してみよう!

定員 70名 ☑保育あり(定員9名/先着順/1歳から就学前まで)  
☒保育希望の方は11月10日までにお申し込みください。

### 〈問合せ・保育申込み〉

電話 090-4382-1200 (中山)

主催 小平市自治基本条例市民の集い

